



瑞南小だより

第10号

令和7年 9月16日

発行責任者 伊藤雅幸

9月は「いじめゼロ強調月間」です！

本市では、毎年度、5月と9月を「いじめゼロ強調月間」とし、いじめの未然防止とともに、いじめの早期発見・早期対応に向け、担任との教育相談の時間（年2回）、アンケート（年4回）などの実施により、重点的に取り組んでいます。

特に本校では、「みんなの約束」として、

**「自分がされていやなことは
人にしない 言わない」**



を掲げ、学校生活における様々な場面で、子どもたちへの意識づけ、友達同士でのトラブル時への対応方法などについて、子どもたちの実態に応じた指導・支援を心がけているところです。

相手を思いやり、温かい心で優しく接することの大切さ、素晴らしさを、子どもたち一人一人が実感できるよう、引き続き、教職員が範を示しながら取組を進めてまいります。



「備えあれば 憂いなし」

～第3回避難訓練より～

10日（水）、洪水・浸水を想定した避難訓練を行いました。

本校は、鬼怒川水域における浸水被害想定区域に位置付いており、水防法に基づき、今回、大雨による鬼怒川の氾濫を想定した垂直方向への避難訓練を実施しました。

近年、全国各地で大雨や台風による被害が多く報告されるなど、予測をはるかに超える災害が発生しています。

日頃から、災害に対する備えや気象情報の収集など、ご家庭でも身を守る対策について話し合っておきましょう。

なお、水平避難（高台避難）時については、瑞穂野中学校への避難となりますので、ご承知おきください。



3年生 校外学習

3年生が社会科の校外学習へ出かけ、午前中は宇都宮市役所・宇都宮中央消防署へ、午後は県立博物館と、どの場所でも貴重な体験をしてきました。



なかよしタイム

本校では、月に一度、1年生から6年生の縦割り班でお昼休みに遊ぶ「なかよしタイム」を設け、異学年の交流を図っています。

スマートフォンやゲームの普及などもあり、異学年で体を動かしながら遊ぶ機会も減少する中、このような機会を貴重な場として捉え、積極的に他学年の友達と関わるよう教員も声をかけ、望ましい人間関係の構築を目指しています。



小中一貫乗り入れ授業

瑞穂野地域学校園では小中一貫教育の取組として「乗り入れ授業」を行っています。

これは、中学校の先生が小学校へ出向き、6年生に対して授業を行い、中学校の授業の雰囲気を経験させることで中学校生活への不安解消にもつながるものとし実施しています。今年度は、瑞穂野中学校の大関崇真先生が社会科の授業を行ってくださり、子どもたちも真剣に授業を受けていました。

